



名古屋芸術大学 人間発達学部

卒業研究発表会

加藤聡一ゼミ(「生活と教育」領域)

2017年1月26日(木)

10:30 AM ~ 16:30 PM

於:名古屋芸術大学東キャンパス 1号館3階304教室
名鉄「徳重・名古屋芸大」駅より東へ徒歩10分

いつもお世話になっておりありがとうございます。
直前の案内にて、申し訳ありませんが
ぜひ本ゼミ12名の研究成果を聞きにおいでください。

8領域13ゼミがそれぞれ1・5・10・11号館に分かれて行っています。
公開・無料、出入り自由です。
加藤聡一ゼミプログラムは2ページ目をご覧ください。



【子どもの生活と教育領域－１】			
加藤聡一 ゼミ（12名） 1号館304教室 10:30～16:30			
		はじめに（加藤聡一）（10分）	10:30-
		題名 一副題一	時間
第1部			
①	石黒璃乃	才能につながるやる気を育てる—〈叱る〉〈ほめる〉〈勇気づける〉—	10:40-
②	鈴木楓太	セリエのストレスの三つの時期とレジリエンスの概念からなるストレスの解消法—子どもと教師のストレスの場合—	10:55-
③	斉藤祥太	無差別大量殺人事件と背景を理解しない社会—秋葉原無差別殺傷事件から考える—	11:10-
④	小玉美空	被虐待児が描く絵—絵を通して子どもが訴えていること—	11:25-
		第1部の総括討論（15分）	11:40-
		昼休憩	
第2部			
⑤	久米里奈	リピーターが多い店とは—沢山人が集まり活気に満ちた空間—	13:30-
⑥	近藤寛之	音楽の必要性—BGMが無意識のうちに感情や行動に与える影響—	13:45-
⑦	三川まい	人と犬が支えあえる社会をつくるために—盲導犬と幸せに生きるために—	14:00-
⑧	長谷川明里	保育現場において食物アレルギーから子どもをどう守っていくか—厚生労働省『保育所におけるアレルギー対応ガイドライン』と—宮市での対応—	14:15-
		第2部の総括討論（15分）	14:30-14:45
		休憩	
第3部			
⑨	鵜飼朋音	子どもの頃に受ける家族からの影響—母親・父親ときょうだいの必要性—	14:55-
⑩	高橋祐里香	「恋愛」からみる『運命の人』の存在—脳内物質による「恋愛」説・子孫繁栄のための「恋愛」説を超えて—	15:10-
⑪	松本美希	ジェンダーから考える生きづらさの原因—〈母親〉という存在がもたらすもの—	15:25-
⑫	水谷 遥	母親の「育児不安」—「育児不安」を取り除くためには夫婦での対話が必要—	15:40-
		第3部の総括討論（15分）	15:55-
		全体の総括討論（20分）	16:10-16:30